

# 「ESD for 2030」AICHIプロジェクト 公開フォーラム開催要項

愛知教育大学では、令和3年度ユネスコ活動費補助金「SDGs達成の担い手育成(ESD)推進事業」として「ESD for 2030」AICHIプロジェクトに取り組み、愛知県内のSDGs未来都市の教育関係者を中心に研究員として参加いただき、7月から6回にわたりESD授業づくりの研究会を実施しました。

本フォーラムでは、研究会に参加した研究員およびチューターがESDの授業づくりや実践における成果発表、今後の愛知県の教育現場におけるESD授業の展開などについて、方向性を見出します。

対象者

国公立私立幼稚園、小学校、中学校、高等学校  
及び特別支援学校等の教育関係者

日時

令和4年2月19日(土) 13:00~17:00

会場

刈谷市産業振興センター 6階 604会議室

全体司会

一般社団法人SDGsコミュニティ

発表者

県内小・中・高等学校教員

13:00~13:05	本事業並びに本フォーラムの趣旨説明
13:05~13:10	文部科学省 来賓ご挨拶
13:10~14:00	研究発表その1「ESDの学びとは～何が大切なのか」
14:00~14:05	休憩
14:05~14:55	研究発表その2「ESD授業実践から見えてきたこと」
14:55~15:00	休憩
15:00~16:00	研究発表その3「研究会を振り返って～今後取り組みたいこと」
16:00~16:30	外部評価委員からのコメント
16:30~16:55	今後の展望
16:55~17:00	閉会挨拶

申込方法

WEB <https://wuke.jp/aichi-edu/entries/add/304>



Webexウェビナーで生配信します。  
詳細は愛知教育大学のウェブサイトをご覧ください。  
<https://www.aichi-edu.ac.jp/>



主催 愛知教育大学

共催 一般社団法人SDGsコミュニティ

協力 公益財団法人ユネスコ・アジア文化センター(ACCU)、ユネスコスクール支援大学間ネットワーク(ASPUUnivNet)、愛知県教育委員会、名古屋市教育委員会、豊橋市教育委員会、岡崎市教育委員会、刈谷市教育委員会、豊田市教育委員会、小牧市教育委員会、知立市教育委員会

本事業は、文部科学省からの活動費補助金で実施・運営しています。

問合せ先

愛知教育大学 財務・学術部 地域連携課地域連携係

TEL 0566-26-2129

メール [chiiki@m.auecc.aichi-edu.ac.jp](mailto:chiiki@m.auecc.aichi-edu.ac.jp)



**井中 宏史** (名城大学教職センター教授)

愛知県立高等学校教諭, 愛知県教育委員会, 高等学校教育課指導主事, 愛知県教育スポーツ振興財団生涯学習振興課課長, 愛知県総合教育センター研究部部长, 愛知県立一宮南高校校長, 愛知県立一宮西高校校長を経て現在に至る。所属学会は, 日本生物教育学会, 日本ESD学会。



**大鹿 聖公** (愛知教育大学理科教育講座教授)

広島大学大学院教育学研究科講師, 北海道教育大学旭川校准教授, 愛知教育大学准教授を経て現在に至る。現在の研究課題は, 地域の教育力向上を目指した教員養成カリキュラムの開発, 社会教育施設や企業等と連携した教育カリキュラム・教材の開発, 教育現場におけるESD/SDGs指導力・実践力の育成。



**新海 洋子** (一般社団法人SDGsコミュニティ代表理事)

専門はコミュニティワーク(地域福祉)。公益財団法人名古屋YWCA, NPO法人中部リサイクル運動市民の会等NPO/NGOに関わり, 青少年育成, 異文化理解教育, 環境教育・環境コミュニケーション事業, ESD人材育成・プログラム開発事業を担当した。環境省中部環境パートナーシップオフィス, 中部地方ESD活動支援センターで多様な主体による協働事業, ESD事業に取り組んだ。(一社)SDGsコミュニティ代表理事。



**曽我 幸代** (名古屋市立大学人文社会学部心理教育学科准教授)

専門はESD。名古屋市環境審議員や愛知学長懇話会SDGs企画委員を務める。教員や行政職員向けにESDやSDGsについての研修を実施。企画・開催しているサステナビリティ・シンポジウムでは, 小学生から大学生までが一堂に会し, SDGsに関する学習/研究成果の報告や協働ワークショップなど子ども・若者の声を社会に発信している。



**藤井 昌也** (名古屋市教育センター長)

26年の教員生活(小学校24年, 中学校2年校長)を経た後, 教育委員会で勤務9年目(指導室長, 学校教育部長等を歴任後, 現職)。指導主事の時には「愛・地球博」の考えを継承し, 環境に目を向け守る子どもたちを育てる「エコ・フレンドシップ事業」を担当し, 「なごや子ども環境会議」を開催した。現在, 市教委では「SDGs達成の担い手づくり推進事業」を実施。



**山本 武志** (愛知県教育委員会生涯教育課担当課長)

23年の教員生活, 豊橋市教育委員会学校教育課, 県教育委員会生涯学習課, 中学校長, 県教育事務所支所長を経た後, 現職。環境学習を柱とした総合的な学習の時間, 理科を中心に「子供が本気になる授業づくり」の研究実践に取り組んだ。最初の県生涯学習課時代は, 県内ユネスコスクール加盟促進, 県ユネスコスクール交流会の起ち上げ, ESDの普及促進を担当。